

上場会社名 永大産業株式会社  
 コード番号 7822 URL <https://www.eidai.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 枝園 統博  
 (氏名) 森下 昌樹

TEL 06-6684-3020

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	42,549	△7.0	△694	—	△592	—	△844	—
2019年3月期第3四半期	45,728	△8.9	△592	—	△448	—	△1,458	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △635百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △2,314百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△18.70	—
2019年3月期第3四半期	△32.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	68,954	42,725	61.9	965.16
2019年3月期	68,032	44,440	65.3	981.13

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 42,655百万円 2019年3月期 44,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.50	—	8.50	17.00
2020年3月期	—	8.50	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	7.50	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,500	△1.3	△670	—	△560	—	△820	—	△18.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	46,783,800 株	2019年3月期	46,783,800 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	2,588,416 株	2019年3月期	1,488,416 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	45,151,384 株	2019年3月期3Q	45,295,385 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦問題の動向及び東アジアや中東における地政学的リスクの高まりが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましては、低水準で推移する住宅ローン金利や各種住宅取得支援策が下支えしたものの、新設住宅着工戸数は前年同期を下回る状況となりました。

このような状況下、当社グループでは、2020年3月期を初年度とする経営五ヵ年計画「EIDAI Advance Plan 2023」を策定し、新ブランド「Skism (スキスム)」の拡販をはじめ、基本方針に則った各施策に取り組みました。

また、事業継続マネジメントを踏まえた生産拠点の複数化を推進するとともに、物流及び情報システムの改革を並行して進めることにより、全社的な事業継続マネジメントの再構築を図りました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、製販一体となって2018年9月の台風被災により減少した受注ストックの回復や粗利率の向上、販売費及び一般管理費の圧縮に取り組みましたが、売上高42,549百万円（前年同四半期比7.0%減）、営業損失694百万円（前年同四半期は営業損失592百万円）、経常損失592百万円（前年同四半期は経常損失448百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失844百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,458百万円）となりました。

なお、企業間の販売競争が激しさを増すなか、台風による被災の影響からは徐々に回復しております。直前四半期（2019年7月1日～9月30日）との比較を下表に記載しておりますので、ご参照ください。

（ご参考）

（単位：百万円）

	2020年3月期 第2四半期連結会計期間 (2019年7月1日～9月30日)	2020年3月期 第3四半期連結会計期間 (2019年10月1日～12月31日)	増減
売上高	14,590	14,881	290
営業利益	△215	110	325
経常利益	△224	184	409
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△407	144	551

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

#### (住宅資材事業)

住宅資材事業におきましては、フローリング、室内階段、室内ドア、収納等の色柄、デザインを体系化し、それらを組み合わせたインテリアスタイルが特長である新ブランド「Skism (スキスム)」の製品バリエーションを拡充し、販売強化を図りました。

建材分野では、銘樹ブランドのより一層の強化を図るべく、壁材として「銘樹ブロックウォール」を発売し、銘樹製品でフローリングと壁材のコーディネートを可能にしました。また、室内階段では、省施工製品である正寸プレカットの提案を強化し、拡販に努めました。

内装システム分野では、主力製品である室内ドア、造作材、クロゼット、シューズボックスの拡販に注力するとともに、新製品としてコンパクト収納「ルルボ」や宿泊施設向けのシステム家具「Orroom (オアルーム)」を発売するなど、収納製品の強化を図りました。特に「Orroom (オアルーム)」は、様々な空間をつくること可能な特注家具製品であり、非住宅分野の開拓に向けて更なるラインナップの拡充を図ります。

住設分野では、ワークトップの厚みを20mmに抑えたシャープなデザインが特長のシステムキッチン「ラフィーナネオ」の販売促進に注力しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は38,047百万円（前年同四半期比6.3%減）、セグメント利益は334百万円（同1.4%増）となりました。

(木質ボード事業)

木質ボード事業におきましては、2019年4月24日付の「合弁会社（連結子会社）設立等に関するお知らせ」において公表しましたとおり、山口・平生事業所内のパーティクルボード工場を9月末で閉鎖しました。この影響により、素材パーティクルボードの販売量は減少しましたが、粗利率の向上や販売費の圧縮を図り、利益の確保に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,383百万円（前年同四半期比12.1%減）、セグメント利益は248百万円（同21.2%減）となりました。

(その他事業)

当社グループは、上記事業のほか、不動産有効活用事業、太陽光発電事業を推進しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は117百万円（前年同四半期比0.1%減）、セグメント利益60百万円（同4.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ921百万円増加し、68,954百万円となりました。主な要因は、現金及び預金、有価証券、たな卸資産がそれぞれ減少したものの、新たに設立したENボード株式会社の土地取得並びに建設仮勘定の増加、また、売上債権、投資有価証券がそれぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,637百万円増加し、26,229百万円となりました。主な要因は、未払金が減少したものの、借入金が増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,715百万円減少し、42,725百万円となりました。主な要因は、配当金の支払い、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び自己株式の取得によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表しました数値から変更しております。詳細につきましては、本日公表しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,691	6,771
受取手形及び売掛金	13,891	14,898
電子記録債権	5,146	5,746
有価証券	1,000	—
製品	5,862	5,395
仕掛品	2,720	2,499
原材料及び貯蔵品	5,489	4,841
未収入金	1,543	1,549
未収還付法人税等	262	—
その他	199	390
貸倒引当金	△5	△8
流動資産合計	46,801	42,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,849	4,794
機械装置及び運搬具（純額）	2,811	2,777
土地	4,037	7,120
建設仮勘定	53	1,922
その他（純額）	285	590
有形固定資産合計	12,037	17,205
無形固定資産	602	619
投資その他の資産		
投資有価証券	7,530	8,002
出資金	7	7
長期前払費用	332	317
繰延税金資産	142	142
その他	636	587
貸倒引当金	△58	△13
投資その他の資産合計	8,590	9,043
固定資産合計	21,231	26,868
繰延資産	—	1
資産合計	68,032	68,954

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,684	4,772
電子記録債務	146	168
短期借入金	—	1,587
未払金	13,979	11,507
未払費用	727	653
未払法人税等	56	85
未払消費税等	32	469
賞与引当金	518	163
災害損失引当金	176	26
固定資産撤去費用引当金	—	34
その他	117	261
流動負債合計	20,440	19,730
固定負債		
長期借入金	—	3,221
繰延税金負債	513	589
退職給付に係る負債	2,282	2,364
環境対策引当金	62	53
負ののれん	193	171
長期預り保証金	91	90
その他	8	8
固定負債合計	3,151	6,499
負債合計	23,592	26,229
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,285	3,285
資本剰余金	1,370	1,370
利益剰余金	38,180	36,565
自己株式	△441	△820
株主資本合計	42,394	40,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,910	2,110
為替換算調整勘定	313	255
退職給付に係る調整累計額	△178	△152
繰延ヘッジ損益	—	41
その他の包括利益累計額合計	2,046	2,255
非支配株主持分	—	69
純資産合計	44,440	42,725
負債純資産合計	68,032	68,954

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	45,728	42,549
売上原価	34,756	32,356
売上総利益	10,971	10,192
販売費及び一般管理費	11,563	10,887
営業損失(△)	△592	△694
営業外収益		
受取利息	16	17
受取配当金	111	108
仕入割引	16	12
為替差益	27	39
負ののれん償却額	21	21
持分法による投資利益	34	17
雑収入	69	84
営業外収益合計	298	300
営業外費用		
売上割引	90	80
雑損失	63	118
営業外費用合計	154	198
経常損失(△)	△448	△592
特別利益		
固定資産売却益	0	5
受取保険金	173	—
受取補償金	—	0
特別利益合計	173	5
特別損失		
減損損失	139	9
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	26	6
固定資産撤去費用	—	86
固定資産撤去費用引当金繰入額	—	34
投資有価証券評価損	152	—
環境対策引当金繰入額	23	—
災害による損失	1,413	—
工場閉鎖損失	—	60
特別損失合計	1,754	197
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,029	△784
法人税等	△571	82
四半期純損失(△)	△1,458	△867
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△22
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,458	△844



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△1,458	△867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△890	199
為替換算調整勘定	11	△58
退職給付に係る調整額	23	25
繰延ヘッジ損益	—	64
その他の包括利益合計	△856	231
四半期包括利益	△2,314	△635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,314	△635
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間において、E Nボード株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	住宅資材	木質ボード	計				
売上高							
外部顧客への売上高	40,623	4,986	45,610	117	45,728	—	45,728
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	982	983	—	983	△983	—
計	40,624	5,968	46,593	117	46,711	△983	45,728
セグメント利益又は損失(△)	329	315	644	58	702	△1,295	△592

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産有効活用事業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	住宅資材	木質ボード	計				
売上高							
外部顧客への売上高	38,047	4,383	42,431	117	42,549	—	42,549
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	858	858	—	858	△858	—
計	38,047	5,242	43,290	117	43,408	△858	42,549
セグメント利益又は損失(△)	334	248	582	60	643	△1,338	△694

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産有効活用事業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。